

一般質問

立 鈴
議 員

○高齢化社会に適応したごみ収集について

質 高齢化が一段と進み、深刻化しているのがゴミの収集である。山間地は公民館毎にゴミ収集地となっているので、非常に利便性を欠いている。街部では収集地が近く負担が少なく、恩恵を受けておられる。同じ市民でありながら、地域格差が長年生じている実態をこのまま放置しておくことは行政として許されない。市民の貴重な税金は、できるだけ市民に寄り添った温もりのある行政サービスを念頭に提供すべきと思うが、理事者の今後の対応を伺いたい。

市長 高齢化の進展に伴い、独居世帯の方もいらつしやいますし、高齢者のみの世帯もあると思います。そういった方々の利便性を高めていくという視点については大変重要だと思っておりますので、収集業者や関係者皆様方と十分協議をして対応していきたいと考えています。

○上志佐小学校複式学級解消への現状について

質 長い歴史と素晴らしい多くの先輩を輩出して現在に至る上志佐小学校を努力もせず、知恵も出さず、汗

もかかず、少子化の流れは全国的なことで済ますことは、小学校の歴史と巣立った先輩方に申し訳ない。私は努力に努力をし、知恵を出し、汗をかいて万策尽き果てるまで頑張つて素晴らしい結果を地域こぞつて迎えたい。何が何でも統廃合を阻止すべきと思ひ毎回一般質問をしてきている。現在、複式学級はどうなっているのか、今後、複式学級を解消すべく施策をお示しいただきたい。

学校教育課長 複式学級を解消して子どもたちの教育環境を整えていくことは非常に大切だと考えています。現在、松浦市立上志佐小学校特別転入学制度を平成31年4月から実施する準備を進めています。この制度は、志佐小学校区に住所を有する児童のうち、自然環境に恵まれた小規模校としての特性を生かした教育活動が実践されている上志佐小学校で学習をしたいと希望している児童が、上志佐小学校に特別に転学、入学できるようにする制度です。

教育長 現在のところ、複式学級の解消に向かって努力するため、特別転入学制度を設けているところです。その後、一応3年間その取り組みの状況を見て、統合がいいのか、あるいは、複式が解消されることによってそのまま継続するのがいいのか、教育効果等を踏まえながら、子どもたちのためにという視点で選択してまいりたいと考えています。

一般質問

谷 口
議 員

○ふるさと納税とその財源の充当事業について

質 ふるさと納税による寄附は、納税者の選択的意思決定に委ねられているため、寄附金の額は年毎の変動が大きい。また、自治体間の返礼品競争の過熱が指摘され、今後の制度に対する不確実性が増している。このような財源の性質から考え、通常の行政サービスの財源補填ではなく、地方活性化のための戦略的投資に活用するべきではないか。

政策企画課長 充当事業の中には継続的な事業もあり、制度の廃止や寄附見込みを下回る場合に財源がなく、事業の廃止や縮小を検討する事態も想定されます。充当事業の選定については、寄附者にアピールできる事業や寄附を呼び込める事業に可能な限り優先的に充当していきたいと考えています。

○商業振興からみる松浦市総合計画の検証並びに第2次計画の策定について

質 第1次総合計画においても、産業振興の点から「商店街個性化施策の推進」や「異業種交流・商業団体連携による商業の活性化」が掲げられている。これらに関してどのような

な施策がなされたか。

商工振興課長 具体的な施策として、協同組合アクトによる宅配事業やお買い物スタンプラリー事業、HOWマッチカード事業です。志佐地区ではワゴン市、シャッターアートなど、今福地区では歴史散策街歩き、今福井の開発、和一処祭りなどを実施しました。あわせて、両地区商店街の街路灯のLED化も実施しています。市外消費力の確保策として、平成17年度から27年度まで、旬あじ、旬さば、トラフグを活用した食の祭りの開催、福岡事務所を設置しての福岡都市圏からの誘客事業に取り組んでいます。

質 福岡都市圏での交流促進やグルメ観光、西九道のIC開通により、今後一層の誘客を図り、商業振興をしていくという観点から、中心市街地の再編整備が必要ではないか。

商工振興課長 地元の商工関係の皆様とも協議をしながら、ハード、ソフト両面で検討をしていきます。

質 第2次総合計画においても中心市街地の再編整備を継続して計画していただきたいが、いかがお考えか。

市長 中心市街地をどのように地域のまちづくりを生かしていくか、第2次総合計画の中でしっかり議論し、その考え方はしっかり総合計画の中に取り組んでいきたいと思っています。

このほか、地域創生応援税制、本市の財政状況、市道志佐浦中央線の通行止めについて質問しました。